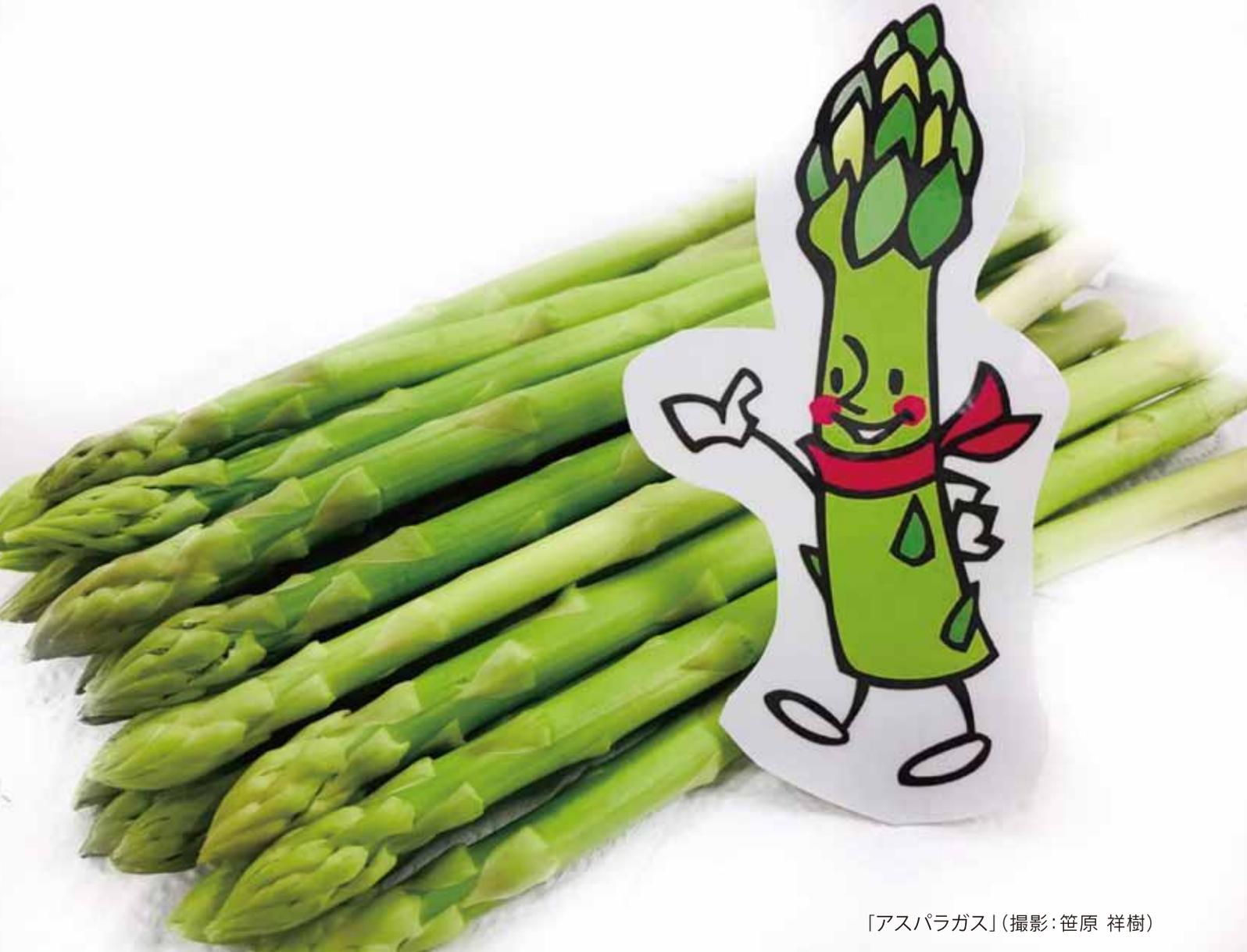




<http://www.jaaso.or.jp/>

JAあそだより

令和元年6月



「アスパラガス」(撮影: 笹原 祥樹)

■今号16ページ 主な内容

- 「平成31年度JA共済普及推進大会」開催
- 生産各部会の生育・出荷・総会・研修会などの情報!
- 青壮年部一の宮支部「ミニトマトで食育授業」
- JA阿蘇『きらり』/「イラスト違い」
- JA阿蘇全体職員事業推進大会 etc.

今号も話題と情報を満載!!

● JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111 / FAX 0967-23-1088



「平成31年度JA共済普及推進大会」開催

JA阿蘇
 「熊本県本部優積表彰受賞組合」
 「共済事務優秀組合表彰」受賞
 西原支所も「優積スマイル
 サポーター表彰」受賞
 個人部門でも数々の表彰を受ける



平成31年度JA共済普及推進大会の様子

J A 共済普及推進大会が 4月19日、熊本県立劇場で開かれました。大会には県下各J Aが集い、共済部門の表彰と式典が行われました。

当日、J A阿蘇は「熊本県本部優積表彰受賞組合」及び「共済事務優秀組合表彰」の優秀表彰を受け、西原支所が



優秀組合表彰を受ける原山組合長

大会終了時には、本年度目標に向かっての目標必達ダルマ入壇やカンパロー三唱が行われ、新しい時代「令和」に向かって、新しい目標とお客様の安心に向けて、より一層の勢いが付く大会の開催となりました。

また当日は、元プロ野球選手の岩本勉氏の講演が行われました。

J A自動車共済損害調査サービス優秀審査員表彰では、最優秀表彰を佐藤清一職員、優秀表彰を西村恭兵職員が受賞しました。

個人部門では優積L Aトレーナー表彰を秋吉武臣職員・中嶋幸代職員・本田雅康職員が受賞しました。

クルマスター占有率伸長率の優積スマイルサポーター表彰を受けました。



優積L Aトレーナー表彰



西原支所の優積スマイルサポーター表彰



JA自動車共済損害調査サービス最優秀および優秀表彰(写真上)



目標必達に向けダルマ入壇式(写真上・左)

生産各部会の生育・出荷・反省会・査定会・総会などの動き

県内の約3割を占める産地
阿蘇アスパラガス春芽
出荷順調、品質・味ともに良好



J A阿蘇一の宮選果場ではアスパラガスの選果作業が行われており、朝早くから生産者がアスパラガスを持ち込む姿が見られています。

4月中旬、同選果場では日量1500ケース(1ケース5kg)を遠くは関東方面まで出荷しています。

今年のアスパラガスについては、暖冬の影響で萌芽は早く2月末からの出荷開始となりました。しかし、保温開始以降に寒さが続いたことなどが影響し、3月下旬になっても前年比50%程度の出荷量となっています。

4月に入ってから、気温上昇に伴って昨年の同時期を上回る出荷量となっています。

指導販売係の後藤真智職員は取材時、「今年は前年からの養分転流も順調であり、品質と味においても良好」と

話していました。

今後の管理としては立茎作業が大きなポイントとなるため、同部会では管内を5つのブロックに分けて現地検討会を行い、夏芽の確保に備えることにしています。

管内での作付面積は他品目からの転換や面積拡大などにより年々伸びており、2019年産においては29haとなっており、熊本県内の約3割を占める産地となっています。

今後は10月までの出荷が計画されており、県内外各消費地での販売促進も予定されています。(写真上||選別作業をする作業員)

J A阿蘇アスパラ部会
作業効率と品質向上目的に
従業員研修を実施

アスパラ部会は選果場に勤務する従業員ら30人の作業効率及び品質向上を目的として、同部会では初の試みとなる従業員研修を5月14日と16日に実施しました。

同研修は他地区の選果場も見学することで、より良い選果場にしていきたいという要望で行われたものです。

研修先として、隣接するJA菊池アスパラ選果場を見学しました。従業員らは自分たちが行っている作業との

違いや作業ミスを軽減する取り組みなどを実際に学びました。

また、自分たちが箱詰めしたアスパラガスの出荷先や買い手の意見も聞きたいということで、出荷先の一つである熊本大同青果(熊本市西区)を訪問、市場担当者や仲卸業者からの意見に耳を傾けました。参加者の一人は「今回の研修は自分たちの作業を見直す良い機会になった」と感想を語っていました。指導販売係の後藤真智職員は「産地を作るのは生産者だけではない。生産者が持ち込んだアスパラガスをより良い品質で出荷していくためにも、従業員さんたち一人一人の作業が大事になってくる。今後さらに品質向上を目指す取り組みをしていきたい」と抱負を語っていました。



JA菊池の選果場で研修を行う従業員の皆さん

組合員資格確認について

当JAに届け出て頂いている内容(氏名、住所、組合員たる資格の別等)

に変更があった場合には、JA阿蘇本所総務部総務人事課

☎0967-22-6111までご連絡ください。

生産各部会の生育・出荷・反省会・査定会・総会などの動き

2019年産ピーマン
蘇陽地区5月中旬定植ピーク

J A阿蘇ピーマン部会では4月中旬、蘇陽地区において2019年産の共同育苗が始まり、仮植作業当日、共同育苗をする生産者ら20人が購入セル苗を鉢上げする作業をしました。

ピーマン部会は、ハウス栽培主体の高森地区と露地栽培主体の蘇陽地区で構成されており、品種の集約や販売数量の確保によって有利販売を展開しています。作付け品種はハウスでは「京まつり」、露地では「さらら」が主力品種となっています。

鉢上げ作業当日、露地栽培予定の「さらら」約2万5000本の鉢上げが部会員の手によって行われました。蘇陽地区は過去に定植直後に晩霜の被害を

受けたこともあり、昨年より晩霜に遭いにくい時期に合わせ育苗作業をしています。

担当の芹口博明職員は「育苗中の温度管理が苗の出来具合に大きく影響するため、天候に合わせた細かい管理を心掛けていきたい」と話していました。

同部会では作付け前の土壌分析で必要な施肥量を算出し、無駄のない低コスト栽培を実践しており、ハウス栽培では3年前より導入している天敵昆虫「スワルスキー」で防除体系に取り組んでいます。定植作業は5月中旬、最盛期を迎えました。(写真上)鉢上げ作業をする生産者/4月中旬撮影)

久木野育苗センター
受注数は昨年より12%アップ

J A阿蘇久木野育苗センターでは、2019年産水稻苗の播種作業が4月上旬より始まり、5月末まで作業が続けられます。同センターでは「コシヒカリ」「あきげしき」「ヒノヒカリ」の3品種に加え、昨年より「稲発酵粗飼料用稲(WCS)」の苗生産にも取り組んでいます。

育苗日数は約25日前後で、南部地区を中心に約8万7000箱(育苗箱20箱=10a分)を納めました。価格(予定)は1箱当たり530円(税別)となっています。

同センターの作業工程は、最初に機械による播種作業が行われます。播種機は1時間当たり1000箱の播種ができる能力を備え、作業終了した育苗箱は室温30度の出芽室で芽だしを行い、芽だしが終わった隣接するガラスハウスで草丈3〜4cmまで緑化させ育苗専用のハウスに移動。播種後3週間ほどで納品できるようになります。

担当の曾我明彦職員は「納品先からの苗質の評価も高く、J Aの内外問わず受注数が年々増えている」と話していました。(写真上)播種作業をする作業員)

夏秋ミニトマト定植ピーク
中部ミニトマト部会

J A阿蘇中部管内では2019年産夏秋ミニトマトの定植が4月中旬ピークを迎えました。

本年度は平年に比べ日照量が多く低温で推移していたため、生育に影響が出るのが心配されましたが例年どおりの定植時期となりました。

定植当日、中部ミニトマト部会長の坂田一雄さんのフレームでは、約1500株を定植しました。

品種は、食味・品質共に優れているサカタ種苗のキャロルスターを導入しています。

坂田さんは「本年度の定植期は日照量も多く苗の生育も良好で、予定通り

生産各部会の生育・出荷・反省会・査定会・総会などの動き

※前ページより続く

の定植が出来た。今後もJAや行政としっかり連携を図り、例年以上の実績を目指したい」と意気込みを語っていた。現在、中部ミニトマト部会(部員数21人・前年比116%)は計画生産面積3.7ha(実績比115%)、計画重量185t(同108%)となっており、出荷開始時期は5月下旬頃を予定してい

小国郷生しいたけ部会 総会出荷査定会
出荷目標46万パック、販売高5,000万円を計画



小国郷営農センターで5月7日、小国郷生しいたけ部会の総会出荷査定会が開催され、生産者ら関係者40人が出席しました。

総会では平成30年度事業報告等5議案が承認可決されました。また役員

ます。

営農部園芸課指導係の笹原祥樹職員は「行政や関係機関と連携をしっかりと行い、講習会・勉強会を定期的に開催し、梅雨期以降の栽培管理に重点を置き、潤沢な出荷が出来るシーズンにしたい」と意気込みを語っていました。

(前ページ写真Ⅱ定植作業のひとコマ)

選任も行われ、新役員での出発が決まりました。

出荷査定会では品質向上に向けて、昨年の規格外生しいたけのパック写真や、秀・優・良の見本が用意され、ポリシーム感のある出荷を呼びかけました。

松野英一部会長は「昨年は生産者一丸となって目標の45万パックを達成することが出来た。今年も目標に向かって頑張りたい」と抱負を述べました。

本年度は生産者27戸で、福岡県を中心に出荷を行う予定です。出荷目標は46万パック(1パック100g)で販売高5千万円を計画しています。

同部会では今年度より初めて地元の小国小学校での食育学習として、駒打ち体験を行う予定です。地元での消費宣伝にも力を入れる計画です。

総会を前に部会では優秀者表彰も行いました。優秀者表彰は次の方々です。(敬称略)



写真上・右Ⅱ小国郷生しいたけ部会
総会出荷査定会の様子
写真下Ⅱ部会優秀者表彰の様子

▽「出荷量の部」池田敏雄(6万6470パック)▽「品質の部」(1万パック以上の生産者)加賀輝夫(秀品率33%)▽「伸長率の部」(同パック数以上の生産者)岩本新一(前年対比214%)▽「出荷日数の部」今永公昭(年間170日)



生産各部会の生育・出荷・反省会・査定会・総会などの動き

野尻地区デルフィニウム出荷順調
「良い花を消費者へ届けていく！」

る発展が期待できる産地である」と評価しています。また、白石さんは一昨年までは購入苗を定植していましたが、それらを自家育苗することでコスト面を抑える経営に取り組んでいます。

指導販売係の堀

野尻地区では5月上旬、デルフィニウムの出荷が始まりました。現在、同地区のデルフィニウム栽培面積は25aで生産者は2人です。

生産者のひとり、白石豊和さんのハウスでは週3回の収穫作業を行っています。白石さんは出荷の荷造りをしながら「出荷最盛期となる梅雨時期の栽培管理を徹底し、花傷みを防ぐことで良い花を消費者へ届けたい」と抱負を語っていました。

白石さんは常に品質向上について考えており、その時期の栽培管理を毎年見直し改善しているそうです。その結果、出荷市場の評価は年々高まっており、野尻地区はデルフィニウム出荷の重要な産地となってきました。

市場担当者は「夏場の貴重な産地として位置付けしており、今後も更な



畑善美職員は「昨年よりも高品質の出来となっており、今後も精度の高い産地情報を市場へ伝えることで有利販売に繋げていきたい」と話していました。出荷はこれからも11月中旬頃まで続き、最終的には5万本の出荷を予定しています。

野尻地区では数多くの花卉が生産されており、このデルフィニウムが先陣を切ったの出荷となり、新年度の始まりを市場に知らせる品目ともなっています。(写真Ⅱ出荷の荷造りをする生産者の白石さん)

5月上旬より春大根出荷開始
生産者19戸で出荷量28万ケース
販売額2億5千万円を計画
小国郷大根部会

県内有数の大根産地であるJA阿蘇小国郷大根部会では、5月上旬より春大根の出荷を始めました。

初日は1戸の出荷でしたが、日を増すごとに2戸、3戸と増えていき約6tを福岡県へ出荷しました。

4月の天候が大根の生育に合っていたため生育は順調で2tでの出荷が中心となっています。

小国郷大根部会の佐藤隆さんは「品質良好で良いものが出来た。春大根は辛味が多少あるが、大根おろしやサラダなどでも美味しく食べられる。今の時期、ぜひ小国郷の春大根を堪能してほしい」と語っていました。

販売担当の波多野勝郎職員は「段階

的に作付けを行い、切れ間なく出荷して頂きたい。今年度も生産者の期待に応えられるよう頑張りたい」と意気込んでいました。

同部会は、春・夏・秋冬大根を9月頃まで段階的に作付けを行い、12月下旬まで出荷を行う予定です。

今年度は部会員19戸で、出荷数量28万ケース(1ケース10kg)、販売額2億5千万円を計画しています。



(写真上Ⅱ大根を洗う佐藤隆さん、写真右Ⅱ出荷選別を行う佐藤アイ子さん、出荷作業を行う佐藤さん)

生産各部会の生育・出荷・反省会・査定会・総会などの動き

JA阿蘇南部地区
スナップえんどう出荷開始
夏秋品目との連携で所得向上

JA阿蘇南部地区では、2019年産スナップえんどうの出荷が5月中旬から始まっており、生育・出荷量ともに順調な出発めとなっています。

このスナップえんどうの作付けは、農家の所得向上を図ろうと2015年から本格的に始められ、夏秋野菜収穫期間以外での安定収入確保に成果を上げています。

南部地区は県内有数の夏秋野菜の産地であり、代表的な品目であるトマトの出荷開始となる6月上旬から中旬までは、他に収入が見込めない期間があ

りましたが、スナップえんどうは6月下旬まで収穫できることから、その期間の収入が見込める品目として大きな期待が持たれています。

指導販売係の齋藤光弘職員は「スナップえんどうは、トマトが出荷できる期間を埋めてくれる貴重な品目。年々市場評価も高まっているので、高品質を維持させるためにこれからも定期的な巡回指導をしてきたい」と意気込みを語っていました。

2019年産の栽培概要は生産者16人。作付け面積は100aで、県内を中心に今後は九州各地へも出荷されます。

(写真左Ⅱ出荷されたスナップ)

えんどうの品質確認をする担当職員

JA阿蘇青壮年部一の宮支部
地元小学生へ食育授業
ミニトマト苗植えを指導

青壮年部一の宮支部は5月17日、阿蘇市立一の宮小学校2年生約90人にミニトマトの苗植え指導をしました。

同校2年の学年では食育学習「ミニトマトものがたり」として毎年ミニトマトの栽培しており、青壮年部一の宮支部では食農教育の一環として「ミニトマト苗植えを指導」を行っています。

当日、最初に岡田孝七支部長が「普段食べている野菜が、どのように出来ているのかしっかり勉強して下さい」と挨拶を行い、その後、ミニトマト栽培をしている盟友より「ミニトマトの生育過程や実の着き方」など、説明が行われました。

児童らは「いつ頃から食べられるようになりますか」とか、「トマトとミニトマトの違いを教えてください」などの質問が次々と出され、児童らの好奇心旺盛な様子が伺えました。

その後、児童らは盟友から苗を受け取り、傷めないように扱いながら個々のプランターに定植を行い、株元にたっぷり水やりをして無事に食育授業が終了しました。

児童らは「ミニトマトの苗が折れないように植えるのが難しかったけど、早

く食べられるように頑張つて育てます」とか「これまでミニトマトは嫌いだったけど、好きになれそうです」など、笑顔で感想を述べていました。

収穫期は7月中旬頃を予定しており、それまで同支部盟友が定期的に観察を行う予定です。



青壮年部一の宮支部盟友の指導でミニトマトの苗を植える一の宮小2年生

農業と食を学ぶ……令和元年度「まるごとあそっ子スクール」開校

いちご選果場や直売所を見学
昼食は地元食材バーベキュー

元号が令和に代わって間もない5月18日、「まるごとあそっ子スクール開校式」が阿蘇市の中部営農センターで行われました。当日、開校式には地元の小学生から募ったあそっ子（生徒・参加者）28人が出席しました。

開校式では、あそっ子スクールの校長先生となる原山寅雄組合長が「農業と食について、あそっ子スクールでしっかりと学んでください」と祝辞を述べました。そして職員や担任スタッフが一緒になって、あそっ子スクールを盛り上げていく決意を述べました。

あそっ子スクールでは約1年間の多彩な行事を計画しており、田植えや稲刈り体験、オリジナル箸作りや1泊2日のキャンプ等を予定しています。

開校式後はJA阿蘇グリーンショップ「やまびこ」や「いちご選果場」を回る見学会を行い、JAと農業のつながりを学びました。

その後、昼食では地元JA女性部の協力で地元食材の野菜や赤牛を使ったバーベキューや、阿蘇産の米を使ったおにぎりが振る舞われました。子供たちは、あそっ子スクールの様々な取り組みとカリキュラムに満足し、有意義な時間を過ごしていました。



写真右上＝あそっ子スクール開校式の様子
写真左上・横＝グリーンショップやまびこの見学



昼食では女性部の協力で地元野菜や赤牛を使ったバーベキュー、阿蘇産米おにぎりが提供された



↑いちご選果場の見学

「2019年度推進目標を確認」 JA阿蘇全体職員事業推進大会

「農業者の所得増大と
農業生産の拡大」など
7項目の基本方針を確認する



JA阿蘇は2019年度事業目標の達成に向け5月25日、全体職員事業推進大会を阿蘇市で開き、役職員ら289人が参加しました。

原山寅雄組合長は本年度決算について「組合員さんのもとより、役職員が精一杯頑張った努力の賜物である。2019年度の目標達成に向け職員一人一人が目標に対し尽力し、役職員一丸とな

って努力しよう」と挨拶しました。
2019年度の事業計画・推進目標については

① 農業者の所得増大と農業生産の拡大

② ぐらしの活動を通じた地域活性化の実践

③ 地域特性に応じた推進計画の策定・活動の実践

④ JAバンクとしての存在意識を発揮し、農業所得の向上と地域の活性化に向けた金融支援の実践

⑤ 地域の実情や多様な担い手ニーズに応える購買事業の展開

⑥ 不祥事未然防止の取り組み

⑦ 自己改革の実践と収支改善による経営基盤の強化

の7項目を基本方針に事業活を展開していくことを確認しました。

大会の最後に役職員一同が「本年度事業目標の早期必達に向けて『がんばろう三唱』を行い、より一層の団結を強めました。

また、当日は関西熊本県青果物研究会の古川成吉会長より「組織とは」と題して講演が行われました。

(写真上)挨拶をする原山寅雄組合長

(写真下右)事業推進大会の1コマ

(写真下左)講演を行う関西

熊本県青果物研究会の古川会長



コンプライアンス(法令遵守)の徹底と職場環境の改善

平成31年1月に不祥事が発生し、JA全中より「要改善JA」の指定を受けました。再発防止に向けて、平成31年3月に県中央会の指導のもとプロジェクトを編成し「不祥事再発防止策」を策定し、令和元年6月より取り組みを開始しました。不祥事再発防止策の着実な実践を通じて、信頼回復のために全力を注ぐとともに、職場づくりと職員の育成に役職員一丸となって取り組みますので、組合員・利用者の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

— JA阿蘇 —

「JA阿蘇きらり」



岡 おか

凌他 りょうた



一の宮中央支所購買課購買係（一の宮グリーン）

- ★趣味＝ダーツ（福岡大会では優勝経験あり）
- ★一言コメント＝今年の4月に新入職員として入組しました。購買店舗での業務で、まずは組合員さんの顔を覚える事や、取り扱う商品

をしっかりと理解する事から頑張っています。そして、早く組合員さんの力になれる様になりたいです。まだまだ未熟ではありますが、よろしくお願い致します。

JA阿蘇 イラスト違い探し「白川水源」

（出題：イラストレーター みやたまゆき）

左右2枚のイラストには、違っているところが4か所あります。探してみてください！



※答えは11ページにあります。

厚生連ニュース

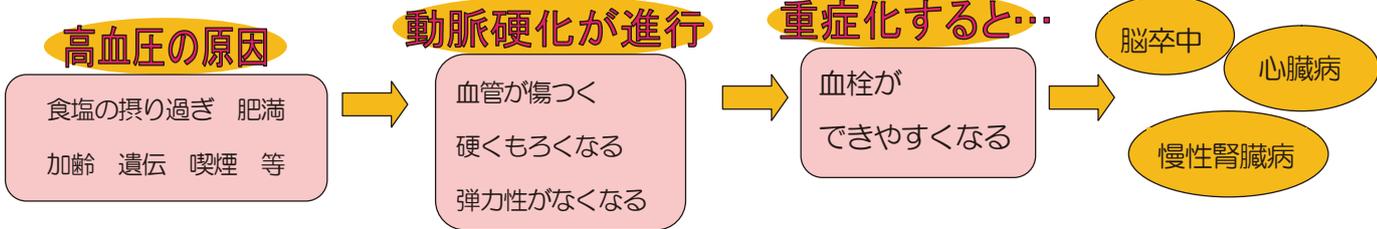
6月



高血圧を予防しよう



高血圧はなぜ危険？



収縮期血圧(最高血圧) 140mmHg 以上か、拡張期血圧(最低血圧) 90mmHg 以上の場合、高血圧と診断されます。

管理栄養士による

上手に食塩を減らすコツ

外食、練り製品などの加工食品はできるだけ控える

天然食品でだしをとる

麺類のスープは飲み干さない

薄味は、続けていけばだんだん慣れてくるものです。少しずつ自分のペースで薄味に慣らしていきましょう。



高血圧と言われている人は
食塩 1日 6g 未満
健常な成人の場合
男性 8g 未満 女性 7g 未満
を目標に！！

レモンの酸味や香辛料、香味野菜を活用する



ソースやしょうゆはかけずに少量つけて食べる

野菜をたくさん食べましょう

野菜や果物、豆類などに多く含まれるカリウムは、ナトリウムの排泄を促して血圧を下げる働きがあります。カリウムは水溶性のため、ゆでると水に溶けだしやすい栄養素です。野菜はサラダなど生で食べても良いのですが、スープにしてまるごと食べたり、電子レンジで加熱して食べると効率よくカリウムを摂取することができます。

※腎臓病・糖尿病などで食事制限を受けている方は主治医にご相談ください。



JA熊本厚生連健康管理センター

施設所長 栗津 雄一郎

TEL 096 (328) 1256 FAX 096 (328) 1229

厚生連ニュース

6月

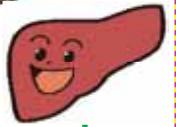


本当は**怖い**脂肪肝



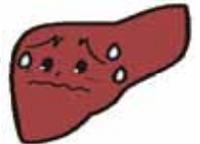
肝臓の働き..

肝臓は、血管を通して運ばれてきた栄養を体に必要なものにかえる、薬物やアルコールを解毒する、不要になったものを処理するなど、**体内の化学工場のような役割**を果たしています。



脂肪肝とは..

肥満や食べすぎ、飲みすぎが原因で**肝臓に余分な中性脂肪がたまりすぎ、肝臓の機能が低下した状態**です。動脈硬化を進行させ、長期にわたると肝硬変へ進行する危険もあります。



脂肪肝のタイプと原因



☆三脂肪肝を防ぐための生活のポイント☆三



食事

- 食べすぎを避け、肥満を予防する
- 糖質・脂質の過剰摂取を避け、バランスの良い食事を心がける
- 野菜や海藻、きのこ類を積極的に摂取する
- アルコールは禁酒もしくは節酒を心がける

運動

- ウォーキングやジョギング、水泳などの有酸素運動を行う
- 筋力トレーニングを行う
- 毎日の生活に運動の習慣を取り入れる

※脂質異常症や糖尿病など治療中の方は主治医の指示に従いましょう

JA熊本厚生連健康管理センター

施設所長 粟津 雄一郎

TEL 096 (328) 1256 FAX 096 (328) 1229



ガス炊飯器

ご飯があなたを幸せにする炊飯器
ガスだからできる短時間ふっくら仕上げ!

Paloma PR-18EF 希望小売価格 25,704円(税込) 1升 17,800円 5合 16,300円	Paloma PR-M18TV 希望小売価格 75,384円(税込) 1升 52,100円 5合 50,600円	Paloma PR-M18TR 希望小売価格 77,544円(税込) 1升 53,600円 5合 52,100円	HARIMAN LK2016-JA 希望小売価格 22,464円(税込) 1升 15,000円 5合 13,500円	HARIMAN LK1016-JA 希望小売価格 20,904円(税込) 1升 15,000円 5合 13,500円	HARIMAN LK2016-JA 希望小売価格 32,184円(税込) 1升 21,000円 5合 19,700円	HARIMAN LK1016-JADB 希望小売価格 30,024円(税込) 1升 21,000円 5合 19,700円
--	---	---	---	---	---	---

お風呂ばかばかキャンペーン

NORITZ **NORITZ**

ドライボット
オートタイプ
1台4役

●湯沸し
●洗濯機
●乾燥機
●給湯機

GH-712W一式
希望小売価格 250,999円(税込) **42% OFF**
特価 **143,100円**

※取付工事費が別途必要な場合があります。

お問い合わせは
県下JAグループ

JA阿蘇 北部LPガスセンター
TEL 0967-42-0720

JA阿蘇 中部LPガスセンター
TEL 0967-32-4424

JA阿蘇 南部LPガスセンター
TEL 0967-67-2520

下取りは
無償で
行います

取付工事費が別途必要な場合があります。

安全に関するご注意

- ご使用の前に「取扱説明書」をよく読んで正しくお読み下さい。
- 取扱要領に基づき、火災・やけどなどの原因となる場合があります。
- 設置工事には、お買い上げのJAにご依頼下さい。
- 工事には不備が有りまうと故障の原因となります。

システムキッチン用コンロ

※取付工事費が別途必要な場合があります。

Paloma PD-70IWS-75GK 希望小売価格 196,560円(税込) 75cm 特価 72,700円	Paloma PD-600WS-60CV 希望小売価格 149,040円(税込) 60cm 特価 55,100円	NORITZ NBS09PWASKSTE 希望小売価格 259,200円(税込) 75cm 特価 119,800円	NORITZ NBSW06G 希望小売価格 195,800円(税込) 60cm 特価 55,000円
--	--	---	--

ガステーブル用コンロ

Paloma PA-360WH(L/R) 希望小売価格 69,984円(税込) 特価 32,000円	Paloma NLG22800-1LGM 希望小売価格 47,304円(税込) 特価 22,000円	Paloma PA-542B(L/R) 希望小売価格 48,384円(税込) 特価 20,000円	NORITZ NLG222303DG(L/R) 希望小売価格 42,336円(税込) 特価 25,100円
---	---	--	--

毎年6月は「食育月間」 毎月19日は「食育の日」

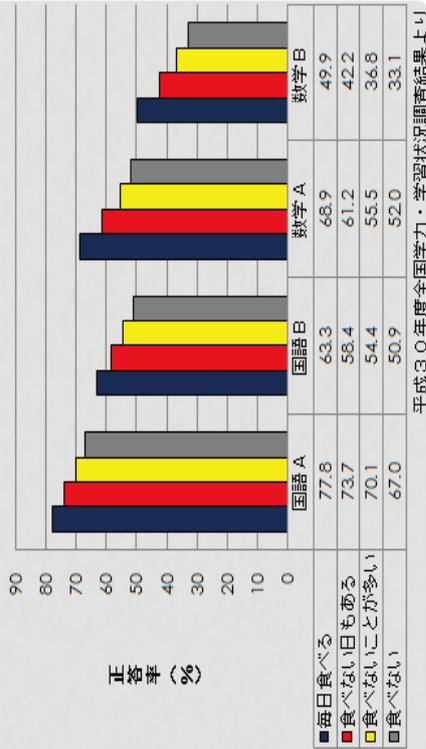
令和元年度朝食キャンペーン

作品募集中

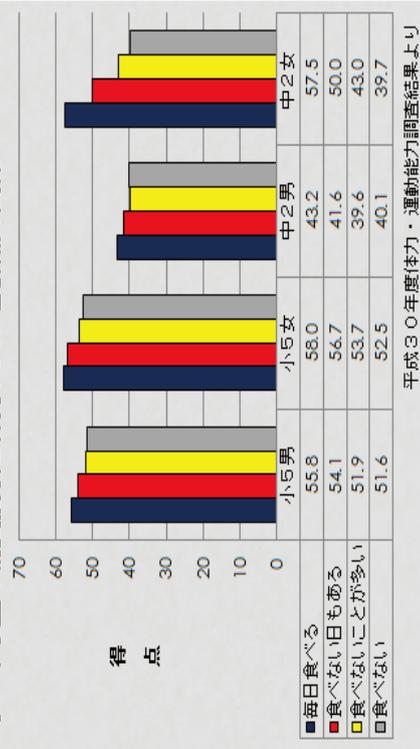
平成三十年度 最優秀賞「ポスター原画の部」宇城市立松橋小学校 鋤崎 蒼大 さん

早寝・早起き・朝ごはん
学力・体力をアップさせよう！

中学生の朝食摂取と学力調査における平均正答率の関係



小・中学生の朝食摂取と体力テスト合計点の関係



朝ごはんを食べる生活をしている児童生徒は、
学力・体力ともに高い傾向にあります。

熊本県教育委員会